

令和4年3月25日

令和4年
第1回野洲市議会定例会
決 議 書

野 洲 市 議 会

決議第2号

野洲駅前Bブロックでの野洲市民病院整備事業早期再開についての決議（案）

上記の議案を提出する。

令和4年3月25日

提出者 野洲市議会議員 岩井 智恵子

提出者 野洲市議会議員 橋 俊 明

提出者 野洲市議会議員 山崎 敦志

提出者 野洲市議会議員 東郷 克己

提出者 野洲市議会議員 鈴木 市朗

提出者 野洲市議会議員 田中 陽介

提出者 野洲市議会議員 小菅 康子

決議第2号

野洲駅前Bブロックでの野洲市民病院整備事業

早期再開についての決議（案）

年明け早々、駅前Bブロックで令和7年度の開院を目指していた病院整備事業を「熟考」と凍結され、既に2ヶ月以上立ち止まった状況が続いている。代表質問、一般質問で明らかになったように、市立野洲病院は“満身創痍”の状態であり、「早期整備」の重要度は一段と上がっている。

こうした現病院の厳しい状況と共に、駅前以外の市有地は駅前よりも整備に向けた課題が多く、市の医療構想にも合致しない等、野洲駅南口での整備以外に選択肢がないことは明白であり、昨年5月28日に栢木市長が駅前Bブロックでの整備を決断された理由も同様と推察する。

市民の命と健康を守る病院、さらに健康維持・増進に積極的な役割を果たすこれからの病院を整備することは、笑顔あふれる野洲の実現にも大きく寄与すると確信している。

我々はこうした観点から、病院整備については市長と議会が小異を捨て、大義を立てて結束して事業を進めていくべきと判断し、野洲駅南口Bブロックでの整備を支持し、市民の命と健康を守る病院の維持、さらに発展に向けた事業を後押しすることを決断した。市長におかれても、事の重要性に鑑み断を下されることを切に願い、以下議会の総意として決議する。

一、野洲駅南口Bブロックでの病院整備事業を速やかに再開させること。

令和4年3月25日

野 洲 市 議 会

令和4年3月25日

令和4年第1回野洲市議会

定例会 決議書関係資料

野洲市議会

(提出理由)

昨年 5 月 28 日の野洲病院整備事業特別委員会にて野洲駅前 B ブロックでの新病院整備を表明されて以来、多くの予算と職員の労力、そして何より貴重な時間を投入して B ブロック整備に取り組んでこられた。

今年に入り、一会派からの要望をきっかけに「熟考」と事業を中断され既に 2 ヶ月以上が経過した。

我々はあらゆる機会を捉え、病院整備は急務であると訴え、地域医療のパートナーである守山野洲医師会からも同様の要望書が提出されてきたが、その意見は顧みられることなく放置され、「熟考」は今も続き、無為に日々が失われている。

さる 3 月 16 日深夜には、宮城、福島両県を震度 6 強の地震が襲った。本市の地震ハザードマップでも市内の多くが震度 6 強に分類され、現野洲病院もほぼ 6 強の地域に位置している。次年度、耐震調査費が計上されているが、抜本対策は建て替え以外にないことは幾度も調査、検証されている。その他雨漏りや衛生面、病室の狭さなど様々な課題を抱え現病院は「満身創痍」であり、治療を受ける患者や市民の健康を守るため、新病院の整備を早急に再開させねばならない。

病院整備に関しては、様々な意見があるのは事実であるが、客観的なデータと検証により、本市が取り得る選択肢は駅前で整備するか、整備を諦めるかである。「市内に病院が必要」と認める以上、駅前での整備が合理的判断である。

以上、病院整備が急務であり、野洲駅前以外に選択肢が無いという事実を踏まえ即刻 B ブロックでの整備を再開されることが栢木市長の責任である。その責を全うされることを促すため、本決議案を提案する。